

2019
MOPC
awardセキュリティ委員会特別賞
東芝インフラシステムズ株式会社

「CYTHEMIS™」

施設内ネットワークを守り、安全なIoT活用を実現

工場などでIoTの活用を進める際、セキュリティパッチが当てられないレガシー機器など、施設内のネットワークセキュリティが課題となっている。東芝インフラシステムズの「CYTHEMIS」(サイテミス)は、コストを抑え簡単にシステムのセキュリティ対策を実施できるデバイスおよび管理システムである。

具体的には、PCやネットワーク接続機器、監視カメラやIoTデバイスなどエンドポイントのLANの口に「CYTHEMIS」端末を挟む。

このデバイスを通じて管理システムからエンドポイントに相互認証機能を与え、通信を暗号化することでシステム全体のセキュリティを保つ。

これまでOSのサポートが切れるたびに多くの機器をリプレースする必要があったが、レガシー機器も使い続けることができ、安全なIoT化を推進することが可能となった。

認証には、通信元、通信先を厳格

に認証し、つなぎたい相手とだけ通信を認める暗号化技術を使った相互認証ソリューションを活用。また、管理システムにICカードを使うことで、重要な設定変更へのアクセス権管理を強化している。

図 「CYTHEMIS」の概要

